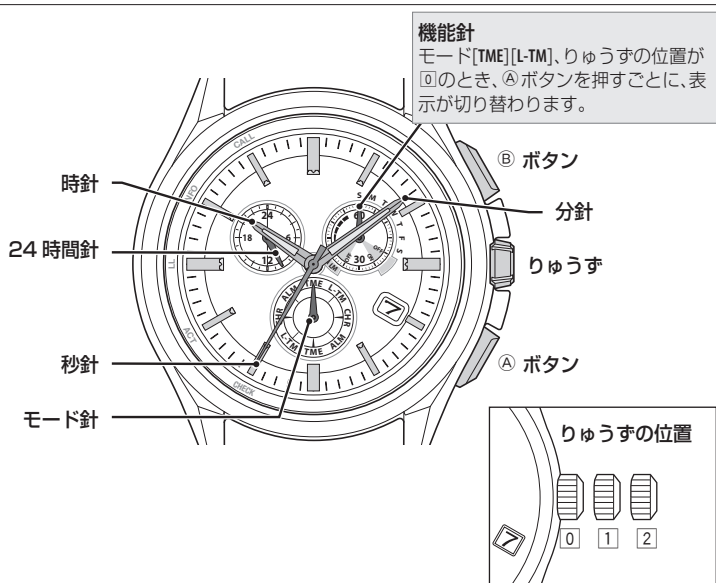


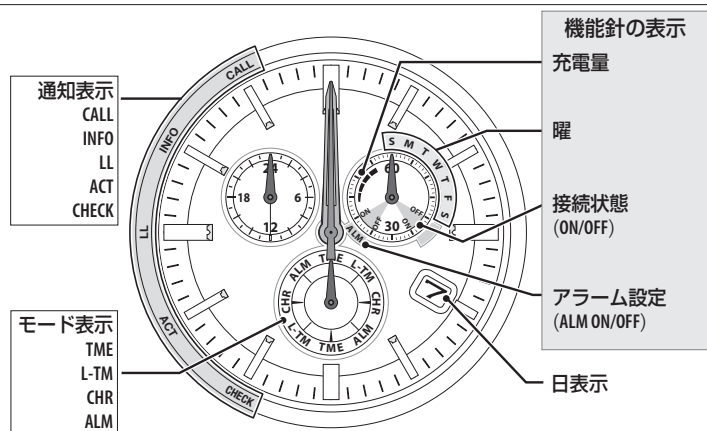
- この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- 充電時間 / 仕様 / 操作の詳細は、Webマニュアルをご参照ください。 <https://citizen.jp/support/guide/html/w770r/w770r.html>

各部の名称

針とボタン



表示



- ソーラーセルが文字板の下に配置されています。
- お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。
- モデルによって、「CHECK」表示がないこともあります。

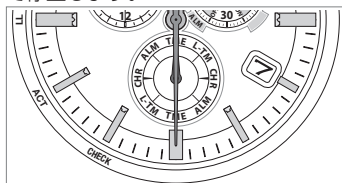
モードを切り替える

この時計には、次の4つのモードがあります。

TME	通常の時刻を表示します。
L-TM	モード[TME]とは異なる時間・カレンダーを表示します。
CHR	クロノグラフを使用するためのモードです。
ALM	アラームの設定を行うためのモードです。

1 りゅうずの位置を①にする

秒針が30秒を指して停止します。



2 りゅうずを回して、時計のモードを切り替える

・モード針がモード表示の目盛を確実に指すように、りゅうずを回します。

3 りゅうずの位置を②にして終了する

時計の各表示が、選んだモードの表示に切り替わります。

・表示の切り替えに時間がかかる場合があります。

充電量を確認する

充電量を確認する

- 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を①にする
- ④ボタンをくり返し押して、機能針が充電量を表示するようにする



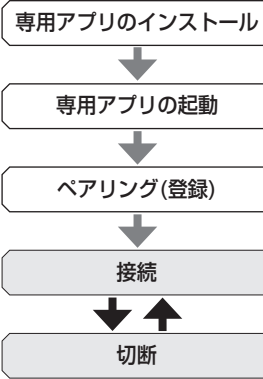
充電量のレベル表示

レベル	3	2	1	0
充電量表示				
およその持続時間	スマートフォンを1日に6時間使用しているとき (10回程度の通知を受け取り、通知ごとに1回振動する場合)			180日以下
	280~250日	250~200日	200~180日	
表示の意味	スマートフォンを使用していないとき			充電警告が始まるレベルです。
	20.5~16.5ヵ月	16.5~9ヵ月	9ヵ月~180日	
	十分充電されています。	充電状態は良好です。	やや充電量が不足しています。	充電警告が始まるレベルです。
	安心してお使いいただけるレベルです。		すぐに充電してください。	

スマートフォンを接続する前に

この時計は、省電力通信技術 Bluetooth Low Energy を使用し、スマートフォンと接続します。
接続には、スマートフォンに専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」をインストールし起動させ、ペアリング（登録）する必要があります。
接続までの流れは、次のようになります。

- Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。
- Androidは、Google Inc.の登録商標です。
- iOSは、Apple Inc.のOSの名称です。iOSは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標であり、ライセンスに基づき使用されています。



接続について

時計とスマートフォンを接続して使用するためには、専用アプリが作動している必要があります。

- スマートフォンによっては、専用アプリがバックグラウンドで自動停止しないように設定する必要がある場合があります。
詳しくは下記「Web版取扱説明書」をご覧ください。

接続できるスマートフォンについて

時計とペアリングして使用できるスマートフォン(Android OS 9.0/iOS 13.3以降に対応)や、専用アプリについての情報は、下記「Web版取扱説明書」をご覧ください。

専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」をご利用中のお客様へ

本専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」を使用するためには、時計のファームウェアアップデートおよび専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」の削除が必要です。
詳しくは、下記「W770とW770 Riiiverについて」をご覧ください。

- Web版取扱説明書
<https://citizen.jp/support/guide/html/w770r/w770r.html>
- W770とW770 Riiiverについて
https://citizen.jp/support/guide/html/w770r/intro_w770r.html

接続してできること

専用アプリを操作して行うこと

ペアリング(登録)	時計とスマートフォンを初めて接続するときに行います。
充電量の確認	時計の充電量が、アプリ画面に表示されます。
時刻受信	スマートフォンから時刻・カレンダー情報を取得し、自動で時計の時刻・カレンダーを合わせます。
通知などのiiiideaの設定	SNS着信/メール着信/電話着信など、お好みの通知機能を実行するiiiidea(アイイデア)や、その他のiiiideaを設定します。 最大62種のiiiideaを設定可能です。
ローカルタイム	アプリ画面内の地図などを使用して、世界各地の時刻を時計に表示させます。
アラーム	曜日ごとのアラーム時刻の設定、オン/オフの設定、アラーム音の回数を設定します。
ペアリング情報	時計に登録保存されているペアリング情報(最大3つ)を表示します。
時計のファームウェアアップデート	専用アプリと接続して、時計のファームウェアをアップデートします。
接続時間の延長	時計とスマートフォンの接続時間を、6~18時間から選ぶことができます。
各種設定	時計機能を含め、各機能の設定を行います。
ヘルプの参照	チュートリアル、取扱説明書、オフィシャルサイトなどを閲覧します。

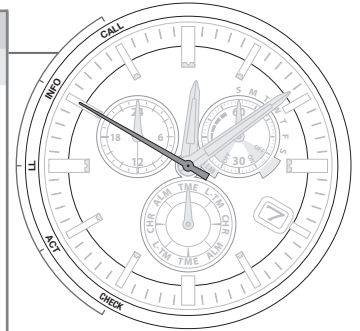
時計を操作して行うこと

充電量の確認	時計の充電量を表示します。
ペアリング(登録)	時計とスマートフォンを初めて接続するときに行います。
接続先の切り替え	接続するスマートフォンを選びます。 ・この時計は最大3つのスマートフォンとペアリング可能で、保存したペアリング情報を切り替えて接続します。
切断/接続	ペアリング済みのスマートフォンと接続したり、接続を切断します。
通知表示	通知機能を持ったiiiideaからの通知を、時計の秒針、振動、音でお知らせします。 ・時計とスマートフォンが接続中で、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」が作動している必要があります。
通知表示の解除	通知表示を解除します。 ・通知表示中は、秒針が動きません。
iiiideaの実行	スマートフォンの接続中に、時計のボタン操作/りゅうず操作で、あらかじめ設定したiiiideaを実行させます。
スマートフォンを探す(スマートフォンサーチ)	ペアリング済みのスマートフォンが、室内などで見当たらないときに、スマートフォンを鳴らして探すことができます。
アラーム	アラーム時刻の設定、オン/オフの設定をします。
クロノグラフ	1秒単位最大60分まで時間計測します。
基準位置の確認・修正	時計の基準位置を確認したり、修正します。

時計の通知表示について

通知を受け取ると、秒針が、対応する通知表示を指します。

秒針による通知表示		
表示	秒針の位置	通知の種類
CALL	55秒	電話着信通知
INFO	50秒	各種通知
LL	45秒	切断通知(Link Loss)
ACT	40秒	時刻受信または接続プロセスの進行中 / 時計操作によるiiiidea(アイイデア)の実行中(Activation)
CHECK	35秒	iiiideaの動作エラー通知



- モデルによって、「CHECK」表示がない場合があります。
- 秒針の通知表示は、時計のモードが[TIME]または[L-TIME]でりゅうずの位置が⑩のときのみ行われます。上記以外の場合に通知を受け取ったときは、通知表示ができるようになるまで、通知表示は保留されます。
- 通知表示中に新しい通知を受け取ると、表示中の通知は解除され、新しい通知表示を行います。

通知表示を解除する

秒針は、通知表示が解除されるまで、秒表示には戻りません。

- 手で解除した通知表示を再度表示させることはできません。

1 通知表示中に、右下の④ボタンまたは右上の⑤ボタンを1秒間押し続ける

通知表示が解除され、秒針は通常の秒表示に戻ります。

- りゅうずの位置を変更しても、通知表示は解除されます。

スマートフォンをペアリング(登録)する

時計とスマートフォンを接続するときは、まず登録を行います。

スマートフォンを登録する

- 登録には、時計とスマートフォンの両方の操作が必要です。
- 時計とスマートフォンの充電量にご注意ください。特に、時計の充電量を確認し(1ページ)、充電レベルが「1」または「0」のときは、登録を行う前に充電を行ってください。
- 登録完了までに20~30秒かかることがあります。登録に失敗しても、約30秒間経過すると、時計は通常の動きに戻ります。

スマートフォンの操作

1 アプリサイトから、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」をインストールする

2 専用アプリを起動する

- アプリ画面は表示させたままにしておきます。

3 「時計をペアリングする」をタップする

- 表示されないときは、画面下の  をタップし、「時計をペアリングする」をタップします。

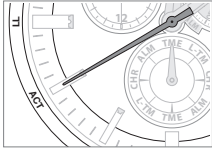
4 「時計をペアリングする」をタップする

時計の操作

5 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を①にする

6 右上の②ボタンを押す

- 秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、登録が始まります。



- アプリ画面にBluetooth使用の許可を求めるダイアログが表示されたら、許可します。
- スマートフォンによっては、位置情報の利用について許可が必要です。

登録に成功すると

アプリ画面に「Connected」(接続済み)と表示されます。

- 登録完了後、時計とスマートフォンは接続されます。また、時計の機能針が接続状態の「ON」を指し、秒針が秒表示に戻ります。

ファームウェアアップデートの案内が表示されたら

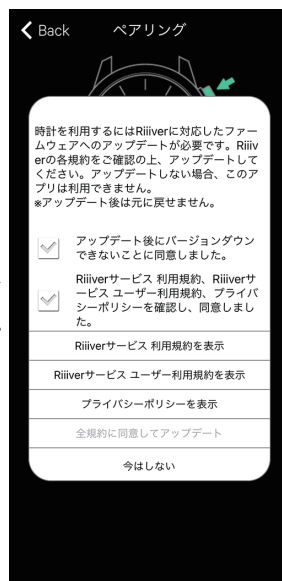
ペアリング後に次の案内が表示される場合があります。

専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」を使用して時計とスマートフォンを接続するには、このファームウェアアップデートを行う必要があります。

- 一度時計をアップデートすると、元のバージョンに戻すことはできません。
- アップデートされた時計は、専用アプリ「CITIZEN Bluetooth Watch」を使用してスマートフォンと接続することはできません。

ファームウェアのアップデートを行うときは、すべての規約についてご確認いただき、同意のうえ項目にチェックを入れてから「全規約に同意してアップデート」をタップします。

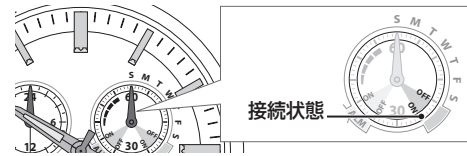
- ファームウェアアップデート完了後、再度ペアリングを行ってください。



スマートフォンを接続/切断する



接続状態を確認する

- 1 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を①にする
- 2 機能針が接続状態(ON/OFF)を指すまで、右下の②ボタンをくり返し押す



接続状態の表示について

時計とスマートフォンの接続状態に変化があると、機能針は接続状態(ON/OFF)の表示に自動で切り替わります。

ON	OFF
	
接続中	接続は切断されています。

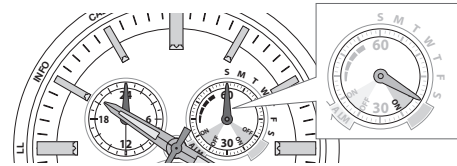
接続を切断する

- 秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます(2ページ)。

1 接続中に、時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を①にする

2 右上の②ボタンを4秒間押す

- 秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、切断が完了すると、機能針が接続状態の「OFF」を指します。



接続する

切断したスマートフォンに再度接続します。

- 登録前のスマートフォンは、接続できません。(3ページ)

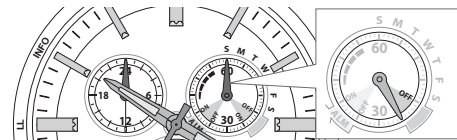
1 切断中に、時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を①にする

2 専用アプリを起動する

- 専用アプリがバックグラウンド動作中でも接続できます。

3 右上の②ボタンを押す

- 秒針が「ACT(40秒位置)」を指し、接続が完了すると、機能針が接続状態の「ON」を指します。



専用アプリの画面について

■ ホーム画面

アプリ起動後に表示される画面です。



この画面の様子は、接続中の時計の発電量を表現しています。
この例の様式では、発電量がほぼ最大であることが示されていて、理想的に充電できていることがわかります。

各機能のメニューです。スクロールしてアイコンをタップし、各機能の画面を開きます。
接続中でないと開かない画面もあります。

■ Local Time画面

時計のローカルタイム機能を設定する画面です。

■ Alarm画面

時計のアラーム機能を設定する画面です。


■ Riiiver(リイバー)画面

Riiiverアカウントを作成したり、ログインする画面です。

■ パーソナライズ機能画面、iiidea設定画面、iiidea詳細設定画面

パーソナライズ機能画面は、Riiiver画面ログイン後に表示される画面です。

iiidea(アイディア)設定画面ではiiideaの設定を行います。

iiidea設定画面でiiidea名の  をタップすると、iiidea詳細設定画面が表示されます。

■ Light Level画面

時計の発電量の履歴を確認できる画面です。

■ Setting画面

各種設定を行います。

■ Help画面

各種情報を閲覧することができます。

iiidea(アイディア)を使う

iiideaを使用するには、Riiiver(リイバー)画面で専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」にあらかじめ設定する必要があります。また、お好みのiiideaをiiideaストアでダウンロードすることもできます。

- iiideaの使用には、時計とスマートフォンが接続中で、専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」が作動している必要があります。
- Riiiver画面やiiideaストアを利用するためには、アカウントの作成が必要です。
- アカウント作成には、メール受信が可能なメールアドレスが必要です。
- ログインは、毎回行う必要はありません。

Riiiverアカウントを作成する/ログインする

1 専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」を起動する

- 時計と接続してなくても、以下の操作は可能です。

2 ホーム画面で、 をタップする

3 Riiiver ログイン画面の「会員登録はこちら」をタップする

4 画面の指示に従って、アカウントを作成する

アカウントを作成すると、Riiiverサービスにログインした状態になり、パーソナライズ機能画面が表示されます。

パーソナライズ機能画面



iiideaを設定する

専用アプリ「CITIZEN Eco-Drive W770」でパーソナライズ機能画面が表示されている状態から説明します。

1 設定したいiiideaの種類を選ぶ

パーソナライズ機能画面



iiidea設定画面が開きます。

2 使用したいiiideaのスイッチをタップし、iiideaを有効にする

iiidea設定画面



iiideaを追加するには

- 1 パーソナライズ機能画面で「iiideaを追加する」をタップする
iiideaストアが開きます。
- 2 追加したいiiideaを選び、「ダウンロード」をタップする
- 3 iiidea設定画面に戻り、追加したiiideaを有効にする

時計からiiideaを実行する

iiideaの中には、時計からの操作によって実行されるタイプがあります。

- 時計とスマートフォンが接続されている必要があります。
- 時計の操作によって実行されるiiideaが専用アプリ上で設定されている必要があります。

時計のボタンでiiideaを実行する

- 1 時計とスマートフォンが接続中で、専用アプリが作動していることを確認する
• 切断時は、専用アプリを起動して、時計の右上のⓂ ボタンを押します。
- 2 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
• すでに通知表示が行われていて、秒針が止まっているときは、時計の右下のⒶ ボタンまたは右上のⓂ ボタンを1秒間以上押し、通知表示を解除します。
- 3 時計の右下のⒶ ボタンと右上のⓂ ボタンを同時に押す
iiideaが実行されます。

りゅうずの操作でiiideaを実行する

- 1 時計とスマートフォンが接続中で、専用アプリが作動していることを確認する
• 切断時は、専用アプリを起動して、時計の右上のⓂ ボタンを押します。
- 2 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
- 3 3秒以内に、りゅうずの位置を②→②→②と変化させる
iiideaが実行されます。

スマートフォンを鳴らす

現在接続相手として選んでいるスマートフォンが、接続範囲内にあるときに、スマートフォンを鳴らすことができます。

- この機能は、接続中でなくても使用できます。
- 秒針が通知表示を指しているときは、あらかじめ解除しておきます(2ページ)。

- 1 時計のモードを[TME]または[L-TM]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
- 2 右下のⒶ ボタンと右上のⓂ ボタンを同時に押す
スマートフォンが鳴り始めます。
• スマートフォンで止めるまで音は鳴り続けます。
- 3 スマートフォンの画面にしたがって、音を止める

ペアリング(登録)情報を削除する

時計から登録情報を削除する

時計の登録情報を削除したときは、必ずスマートフォンでも登録情報を削除してください。

- 1 時計のモードを[TME]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
秒針が、現在選んでいる登録情報を指し、機能針が接続状態(ON/OFF)を指します。
- 2 りゅうずを回して、削除する登録情報を選ぶ
- 3 右上のⓂ ボタンを約7秒間押し続ける
秒針が一回転したら削除は完了です。
- 4 りゅうずの位置を②にして終了する
秒針と機能針が、通常の表示に戻ります。

スマートフォンから登録情報を削除する

- 1 スマートフォンのBluetoothの登録機器のリストから「W770 Riiiver」を削除する
削除の方法は、お使いのスマートフォンでご確認ください。
• 「W770 Riiiver」がないときは、削除済みです。

時刻・カレンダーを手動で合わせる

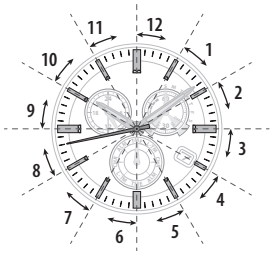
モード[TME]の時刻・カレンダーを手動で合わせます。
 ・ローカルタイムも、時差に応じて自動で修正されます。

- 1 モードを[TME]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
秒針が、現在選んでいる登録情報を指します。
- 2 右下の④ボタンを2秒間以上押し続ける
秒針が0秒を指して停止し、分針が少し動きます。
- 3 右下の④ボタンをくり返し押し、合わせる針/表示を選ぶ
 ・右下の④ボタンを押すごとに、次の順番で合わせる対象が切り替わります。
 時/分 → 日 → 年/月 → 曜 → (始めに戻る)
 ・針/表示が少し動いて、合わせる対象になったことをお知らせします。
- 4 りゅうずを回して、針/表示を合わせる
 ・時針/分針/24時間針は連動します。
 ・午前/午後は、24時間針で確認します。
 ・日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
 ・時刻と日表示は、りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きまわります。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 5 手順3と4をくり返す
- 6 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にして終了する

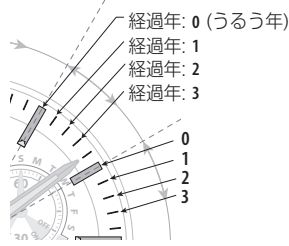
年と月の表示について

年と月は、秒針の位置で設定します。

「月」は、下図の12の矢印の範囲で表示されます。
各数字が月に対応します。



「年」は、うるう年からの経過年に対応し、各月の範囲ごとの目盛りで表示されます。



年	経過年	秒針の位置
2020 2024 2028 2032	0 (うるう年)	月の表示範囲の最初の目盛り
2021 2025 2029 2033	1	1目盛り目
2022 2026 2030 2034	2	2目盛り目
2023 2027 2031 2035	3	3目盛り目

・うるう年については、弊社ホームページで年表をご覧ください。
https://citizen.jp/support-jp/manual/terms/deeper_01.html

基準位置を確認・修正する

時刻情報を適切に受信しても時刻・カレンダーが正しく表示されないなどの場合、基準位置が正しいかどうか確認します。

・各表示が正しい基準位置からずれていると、時刻情報を受信しても、時刻・カレンダーが正しく表示されません。

基準位置とは

時刻・カレンダーを表示するために基準としている、各針/表示の位置のことです。

- ・時針/分針/秒針の位置: 0時00分0秒
- ・24時間針: 「24」
- ・日表示の位置: 「31」と「1」の間
- ・機能針の位置: 「30」(真下)

正しい基準位置



- 1 時計のモードを[CHR]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする
秒針が、現在の基準位置に移動し停止します。
- 2 右下の④ボタンを2秒間押し続ける
各針/表示が現在の基準位置に移動し始めます。
・針が動き出したらボタンを離します。
- 3 上の図を参考に、基準位置を確認する

正しい	りゅうずの位置を①にして、終了します。その後モードを[TME]にします。
ずれている	手順4に進み、基準位置を修正します。

- 4 右下の④ボタンを押す
機能針が少し動き、機能針と日表示の基準位置の修正ができるようになります。
- 5 右下の④ボタンをくり返し押し、修正する針/表示を選ぶ
 ・ボタンを押すごとに、次の順番で修正対象が切り替わります
 機能針/日表示 → 時針/分針/24時間針 → 秒針 → (始めに戻る)
 ・針が、少し動いて修正対象になったことをお知らせします。
 ・時針/分針/24時間針が、修正対象のときは、機能針は「60」(真上)を指します。
- 6 りゅうずを回して、針/表示を修正する
 ・時針/分針/24時間針は連動します。
 ・日表示は、機能針が5回転すると切り替わります。
 ・りゅうずを素早く連続回転させると、針/表示が連続で動きまわります。動きを止めるには、りゅうずを左右どちらかに回します。
- 7 手順5と6をくり返す
- 8 りゅうずの位置を①にする
- 9 モードを[TME]にして終了する

オールリセットする

時計の動作が不安定なときなど、すべての設定をリセットすることができます。充電量が少ないときは、先に充電を行ってください。

オールリセットした後は、必ず次の操作を行ってください。

1 基準位置を合わせる

オールリセットをすると、時計は基準位置合わせの状態になります。
「基準位置を確認・修正する」の手順4以降をご覧ください。

2 時刻・カレンダー合わせをする

手動(6ページ)または、スマートフォンと接続して時刻・カレンダー合わせをします。

- 1 時計のモードを[CHR]にして(1ページ)、りゅうずの位置を②にする

- 2 ④ボタンと⑤ボタンを同時に4秒間以上押し、離す

ボタンから手を離すと、アラーム音と振動が発生し、各針が現在の基準位置に動きまわります。

オールリセット後の各設定	
カレンダー	うるう年の1月1日曜日
ローカルタイム	UTCとの時差±0時間
アラーム設定	ALM OFF
アラーム時刻	午前0時0分
スマートフォンの登録情報	登録情報はそのまま、接続先が登録情報1になります。
接続状態	OFF